

八雲総合病院運営検討会議 会議録（要旨）

- 1 開催日時 平成31年 3月26日（火） 15:00～16:00
- 2 開催場所 八雲総合病院 南棟 講堂
- 3 出席者
 - （1）委員：大野博子委員、安田委員、竹内委員、大野尚司委員、藤沢委員、石田委員（院長）
 - （2）職員：成田事務長、竹内経営企画課長、福原庶務課長、沢野医事課長、佐々木施設課長、石黒医事課長補佐、上野庶務係長、伊藤経理係長、中島企画係主事
- 4 傍聴者：無し
- 5 会議要旨
 - （1）開 会
○竹内経営企画課長
 - （2）院長挨拶
○石田院長
 - （3）事務局紹介
○順次職員の自己紹介を行う。
 - （4）議 事
 - ① 八雲総合病院「新改革プラン」について
○竹内経営企画課長説明

○質疑等
委員：医療コンサルタントを入れるのはいいが、問題は医師不足。医師確保の見込みはあるのか。
石田院長：現在の医療制度では中小規模の病院は非常に厳しい。理由は2つ。1つは、医局に属さない医師が増えていること。医局からの派遣だけに頼らず、民間紹介業者に頼むということもやっていかなければならない。もう1つは、内科は内科でも専門性を高めている医師が多い。当院はすべての疾患を診なければいけない。専門分野以外もとなると医師がこない。また、総合診療科の医師は人数が少ない上に、広く浅くなるため専門的治療に結びつけづらいということも聞く。
委員：医師確保が難しい状況にあるということは、収入増も見込めない。そんな中

でコンサルを入れても変わらないのではないか。

石田院長：コストの取り方は考える余地がある。そういう部分でコンサルから助言をもらえれば。

成田事務長：内科医師の確保は第一優先。コンサルの導入に関しては、八雲にゆかりのある病院からの派遣であり、そこで事務長を務められ実際に病院の経営に関わってきた実績のある方。医師の体制は適正であるか、加算やコストは適正に取れているかなど、当院にあったやり方を助言いただきたいと思っている。事前に話をしている中では、当院は伸びしろがあるということで様々な提案を受けている。

委員：10ページにアンケートを取ったとあるが、どういった内容か。結果はどうだったのか。

沢野課長：11月に来院者、入院患者及び家族からアンケートを回収した。職員でワーキンググループをつくり、集計した結果を本日勤務終了後に発表することになっている。内容は、笑顔で接しているか、聞きやすい雰囲気であるか、身だしなみはどうかなどの基本的な項目と自由記載。お褒めの言葉もいただいた。

委員：議会とのやり取りはあるか。

成田事務長：常任委員会に現状報告等をしている。病院の経営については、今回の第一回定例会にて提案し、意見交換をしている。

委員：議会とのやり取りの中で課題が見え、それが改善されてきていると思う。これからも続けて、お互いに切磋琢磨してもらいたい。

石田院長：私も2ヶ月に1回、町長と話し合いを行っている。今後も続けていきたい。

委員：レセプトの返戻は月にどれくらいあるか。

石黒補佐：10件前後。ほぼ100%再請求しており、1～2月遅れで収入として上がっている。

委員：働き方改革で来年度から有給休暇の取得など取り組まなければならないが、スタッフが少ないために休日出勤などで余計に経費がかかってしまうのではないかと懸念がある。病院としてはどのように考えているか。

福原課長：時間外勤務の縮減、有給休暇の取得など遵守していきたい。病棟の看護師が不足しているために休みが取りづらい状況になっているが、働きやすい環境を作り対応していきたいと考えている。

石田院長：医師会でも問題になっている。医師が少ない診療科ではなかなか難しい。

成田事務長：休暇5日取得に該当する職員は350人ほど。安全衛生委員会を毎月開催し、年休取得状況の把握に努めたい。

② 平成30年度決算見込みについて

○福原庶務課長説明

○質疑等

委員：4億の赤字は今後も減らないという見込みか。

福原課長：収益的収支は毎年4億を超える赤字を見込んでいるが、コンサルの導入や費用削減に努め、町からの繰入金を増額することがないよう取り組んでいきたい。

ただ、電子カルテの更新などの大きな事業を抱えてはいるが、内部留保資金は若干ではあるが確保できると見込んでいる。

委員：人件費の占める割合はどのくらいか。

福原課長：H30年度見込みでは82%。目標としては80%を切りたい。

③ その他

石田院長：医局管理である整形外科、外科、産婦人科、精神科、眼科では医局に年間2～3人しか入局していない大学もあるので、もしかしたら引き上げられる可能性がある。もちろん確保には全力を尽くすが、大学で派遣する基準というのが、年間どのくらい、どのような手術があるか、学会発表をしているかなどがある。

大変厳しい状況ではあるが、医師確保に全力を尽くしたい。

以上